

GX-3R / GX-3R Pro 簡易取扱説明書

GX-3R と GX-3R Pro は同様の操作手順となっているため、
本資料では GX-3R を参考に説明を行います。

各部名称

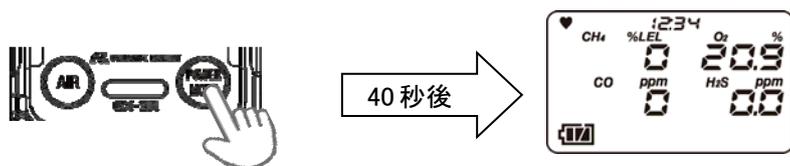


- ① ガス濃度などを表示します。
 - ② 電源を入/切します。
 - ③ エア校正を行います。
 - ④ 警報時にランプが赤く点滅します。
 - ⑤ 操作音や警報音を放出する口です。
- ※GX-3R Pro も同様の配置となっております。

使用方法

1.電源の入れ方

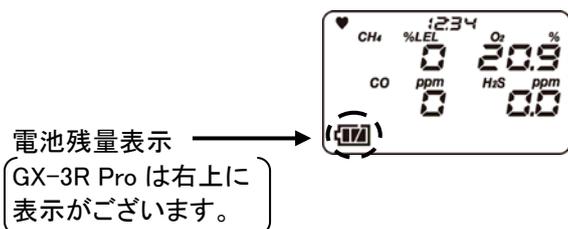
ブザーがピッと鳴るまで[POWER/MODE ボタン]を押し続けます。
各種表示がされ約 40 秒後にピッピッと 2 回鳴ったら測定状態となります。



2.使用前点検

2-1.電池残量の確認

本体が測定画面に遷移した後、電池残量表示を確認して下さい。
電池残量が 1 個または点滅している場合には本体の充電、または乾電池の交換※を行って下さい。



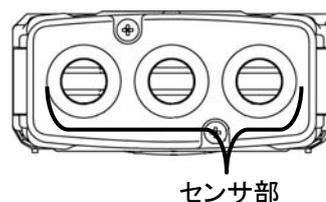
-  : 十分に残っています
-  : 少なくなっています
-  : 充電して下さい

更に電池残量が低下すると電池残量表示が点滅します。
※「5.リチウムイオン電池の充電/乾電池の交換」をご確認ください。

2-2.フィルターのチェック

本器下部のセンサ部に付属しているダストフィルターが汚れていないこと、目詰まりがないことを確認して下さい。
フィルターに汚れなどが確認できた場合フィルターの交換を行って下さい。

※フィルターの交換方法については、取扱説明書を参照して下さい。



警告: フィルターに汚れや目詰まりがあると、正確な検知を行えない場合がございます。

使用方法

3.エア校正の仕方

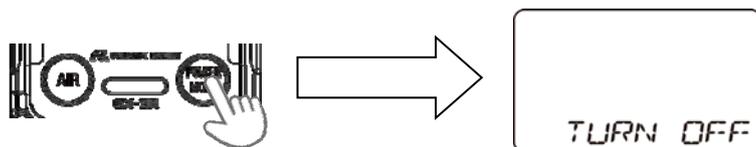
測定画面で、[AIR ボタン]を長押しし、ピッピッと音が 2 回鳴り LCD 下部に RELEASE が表示されたらボタンを離して下さい。ガス濃度表示がゼロ(酸素は 20.9%)になります。本作業が完了し測定画面に遷移しましたら、正常な検知が可能となります。



警告: 新鮮な大気中以外で行うと、正しい校正が行えずガスが漏洩した場合に危険です。

4.電源の切り方

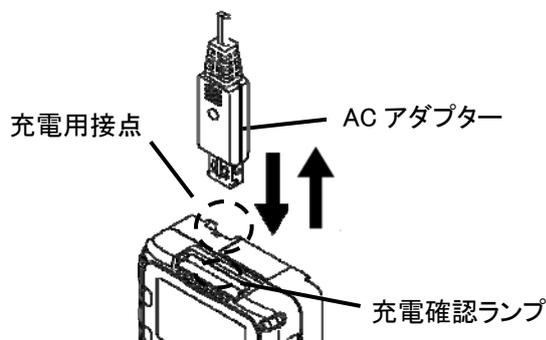
ブザーがピッピッピッと 4 回鳴るまで[POWER/MODE ボタン]を押し続けます。LCD 表示が消えたら電源 OFF となります。



5.リチウムイオン電池の充電 / 乾電池の交換

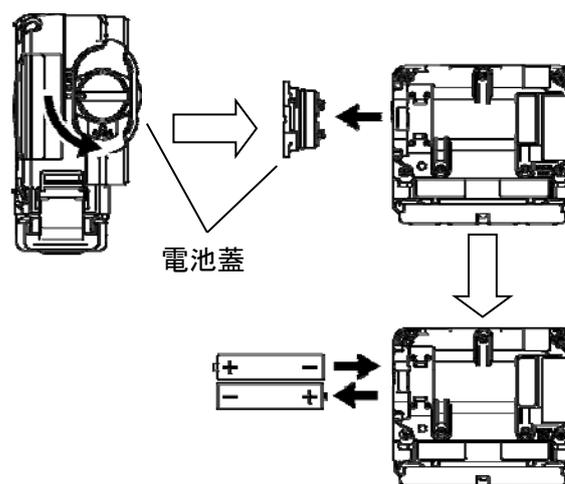
【リチウムイオン電池の充電】

LCD の電池残量表示を確認し、電池残量が少なくなっていたら充電を行って下さい。AC アダプターを本体裏面の充電用接点に差し込んでください。本体上面の充電確認ランプが橙色に点灯していることを確認して下さい。充電が終了したら充電確認ランプが緑に点灯するので、AC アダプターを引き抜いてください。



【乾電池の交換】

電池蓋のロックを外し、電池蓋を開ける。電池の極性に注意し新しい電池を入れ、電池蓋を閉じロックを閉める。



警告: 充電及び電池交換は非危険場所で行って下さい。